

## 社会福祉法人大田市社会福祉協議会 令和3年度事業報告

### 【事業の概要と総括】

新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株の出現などにより、感染拡大の波は繰り返され、なかなか終息の見通しはたっていません。感染予防対策の徹底により、ウイズコロナ時代における新しい生活様式が定着しつつあります。

このような中であって、コロナ禍で生じた「生きづらさ」を抱えた人々の地域での孤立化が新たな社会問題として認識されています。

本会では、令和3年度から「第3次大田市地域福祉計画・大田市地域福祉活動計画」に基づいた地域共生社会の実現に向けた包括的な総合相談体制の構築など重層的支援体制の整備に取り組みました。

地域福祉支え合い推進事業では、生活課題の解決へ向け、分野を超えた支援関係機関のつながりづくりを目指した多機関協働事業や制度の狭間の問題に対応するための新たな居場所づくりの創出などの参加支援事業を実施しました。さらにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、様々な「生きづらさ」を抱える人々と関わり続けるアウトリーチ等を通じた継続的支援事業に取り組み、個別支援と地域をむすび、地域住民同士が助けられたり助けたりできるような地域づくりを推進しました。

生活サポートセンターおおだでは、生活困窮世帯の相談を受けながら、その対応策を検討するための支援調整会議を月1回開催し、家計改善支援事業、就労準備支援事業、一時生活支援事業などによる支援計画を立て、計画に基づいた伴走型支援を行いました。また生活福祉資金の特例貸付によりコロナ禍で収入減少となった世帯への支援に引き続き取り組みました。

権利擁護の推進では、日常生活自立支援事業や法人後見事業により、日常生活に不安を抱える人々、判断能力の不十分な人々の支援を行いました。大田市成年後見支援センター事業では、市民後見人養成講座の開催や中核機関として家庭裁判所との意見交換会などに取り組みました。

生活支援体制整備事業、地域介護予防活動支援事業では、22地区において高齢者の通いの場づくりに取り組まれているほか、地区社協をはじめとしたサロンなど、住み慣れた地域の中で住民主体の支えあいや介護予防の取り組みが行われました。

以上、令和3年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会・自治会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきながら各種事業を実施いたしました。

## 【法人経営の状況】

### (1) 法人運営事業

#### ◇理事会

##### <第1回>

- ・期 日 令和3年6月15日（火）
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 ①令和2年度事業報告について  
②令和2年度収支決算について  
監査報告  
③任期満了に伴う理事及び監事候補者について  
④任期満了に伴う評議員候補者の推薦について  
⑤評議員選任・解任委員会委員の選任について  
⑥評議員選任・解任委員会の招集について  
⑦定時評議員会の招集について

##### <第2回>

- ・期 日 令和3年6月29日（火）
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 ①会長の選定について  
②副会長の選定について  
③常務理事の選定について  
④規程管理規程の一部改正について

##### <第3回>

- ・期 日 令和3年11月30日（火）
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 ①職員給与規程の一部改正について  
②令和3年度補正予算（第1号）（案）について  
③評議員会の招集について  
④生活支援員就業規則の一部改正について

##### <第4回>

- ・期 日 令和4年3月16日（水）
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・報告事項 ①内規の制定、一部改正及び廃止について
- ・協議事項 ①令和3年度補正予算（第2号）（案）について  
②事務局規程の一部改正について  
③規程管理規程の一部改正について  
④大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の一部改正について  
⑤令和4年度事業計画（案）について

⑥令和4年度収支予算（案）について

⑦評議員会の招集について

◇評議員会

<第1回>

- ・期 日 令和3年6月29日（火）
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 ①令和2年度事業報告について  
②令和2年度収支決算について  
監査報告  
③任期満了に伴う役員の選任について

<第2回>

- ・期 日 令和3年12月17日（金）
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・協議事項 ①令和3年度補正予算（第1号）（案）について
- ・報告事項 ①職員給与規程の一部改正について  
②生活支援員就業規則の一部改正について

<第3回>

- ・期 日 令和4年3月25日（金）
- ・場 所 大田市民センター4階
- ・報告事項 ①内規の制定、一部改正及び廃止について  
②事務局規程の一部改正について  
③規程管理規程の一部改正について  
④大田市地域福祉推進支援機関実務者会議設置要綱の一部改正について
- ・協議事項 ①令和3年度補正予算（第2号）（案）について  
②令和4年度事業計画（案）について  
③令和4年度収支予算（案）について

◇監査

- ・監査対象期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日
- ・期 日 令和3年5月27日（木）
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・内 容 令和2年度大田市社協事業及び会計監査

◇評議員選任・解任委員会

<第1回>

- ・期 日 令和3年6月21日（月）
- ・場 所 大田市社会福祉協議会 会議室
- ・協議事項 ①委員長の選任について  
②大田市社会福祉協議会評議員の選任について

◇リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

- ・苦情解決のための第三者委員への苦情、相談：0件

◇財務運営・管理

- ・出納、資産管理等の会計経理事務
- ・消費税申告・納付
- ・源泉徴収事務

◇働き方改革の推進等の労務管理

- ・社会保険業務等の労務事務
- ・36協定の締結・届出
- ・就業規則変更届の届出

◇所轄庁への届出や対外的な法的対応

- ・資産の変更登記
- ・役員改選に伴う理事長（会長）登記

(2) 財源の確保

◇会員制度の周知と会員拡大

人口減少、世帯数減、自治会加入率の低下等の要因により、会費収入は微減

(3) その他

◇中四国都市社協連絡協議会への参画

運営委員会：令和3年10月6日（水）オンライン会議

研修会：令和4年1月31日（月）オンライン研修

◇大田老人福祉センター管理運営事業

- ・利用団体総数 687団体
- ・利用者総数 11,587人

◇職員の専門性向上と資格取得促進

- ・社会福祉士 1名資格取得

**【実施事業】**

**基本方針1 人づくり・地域づくりの推進**

(1) 交流と参加による福祉教育・学習の推進

◇福祉教育推進事業

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりのために、住民一人ひとりが相互理解を図り、人と人とのつながりの大切さや地域生活課題と向き合い、自分のできることは何かを考えることをねらいとして地域及び学校での福祉教育の推進を図った。

<小学校>

- ・実施校数 8校（実施回数9回）

- ・対象者数 185名
- ・主な内容 障がいの理解及び体験学習、高齢者疑似体験学習  
ユニバーサルスポーツの体験会など

<中学校>

- ・実施校数 2校（実施回数7回）
- ・対象者数 495名
- ・主な内容 高齢者疑似体験学習、子育て支援に関する学習

<高校>

- ・実施校数 2校（実施回数4回）
- ・対象者数 145名
- ・主な内容 大森町でのアイマスク体験、ボランティア活動の学習  
ユニバーサルスポーツの体験会

◇ライフステージに応じた福祉教育の推進

- ・あいサポート運動（障がいについての理解と配慮）の推進として、障がいのある方への必要な配慮などの理解、ちょっとした手助けなどについて意識啓発を図った。

<受講者数> 356名

◇地区社協活動支援事業

地区社協が取り組みを行う地域活動が円滑に実施できるよう支援することを目的として活動助成を行った。

- ・申請地区 27地区
- ・実施内容

①各地区社協と地区担当職員が連携して地域活動に関する研修会を実施。

主な内容：福祉委員活動に関する研修、地域の支え合い・助け合いについてや地域生活課題に関する研修

延べ参加者：322名（実施地区：16地区）

②地区社協の事業計画に基づいた多世代交流、友愛訪問活動、サロン活動支援、配食事業、伝統・文化継承などの地域活動に係る事業経費の助成。

◇レクリエーション用具等貸出事業

- ・福祉体験学習用品（疑似体験等）貸出し／5件（学校、地域自主防災会）
- ・軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し／243件
- ・機材等の貸出し／74件

(2) 支えあい意識の啓発とボランティアの育成・参加促進

◇ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア活動の調整・支援を行った。

- ・食育活動ボランティア依頼／25件

◇ボランティア保険に関する手続き事務

- ・ボランティア活動保険（事故対応2件）  
加入者数：1,568名  
    〈基本プラン〉 1,519名      〈天災プラン〉 49名
- ・送迎保険（事故対応0件）  
加入件数：24件
- ・ボランティア行事用保険（事故対応2件）  
加入件数：227件
- ・福祉サービス総合補償（事故対応2件）  
加入件数：27件

◇収集ボランティア活動の推進

暮らしの中で手軽に取り組める収集ボランティア活動の推進を図った。

- ・使用済み切手の収集／22件  
送付先：誕生日ありがとう運動本部（障がい者福祉活動の啓発）
- ・プルタブの収集／32件  
送付先：大田高校JRC部「プルタブを集め車イスに交換活動」

◇ボランティア交流事業 「縁カフェ」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

◇地域福祉活動サポーター養成事業

- ・聞こえのサポート講座  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
- ・移動介助ボランティア養成講座 受講者11名  
開催日 令和3年11月13日（土）  
会場 大田市民会館 中ホール

◇緩和ケア啓発事業への助成・支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動が中止となり、助成なし。

◇民間助成事業（愛のともしび募金等）に関する情報提供

- ・民間助成ニュース速報（月2回）を関係機関へ周知
- ・助成金申請希望団体への申請に係る支援（地域共生社会創造助成金2件）
- ・山陰中央新報社会福祉事業団「愛のともしび募金」助成事業申請事務  
※大田市から2団体申請し、2団体が決定

(3) まちづくりセンターを拠点とした地区社協などの地域組織活動の充実

◇地区社協連絡会及び情報交換会の開催

〈第1回〉

- ・開催日 令和3年4月20日（火）
- ・会場 大田市民センター4階
- ・主な内容 大田市からの連絡事項及び市社協から各種事業の説明を行った。
- ・参加者 25名

<第2回> 感染予防対策として2回に分散して実施した。

- ・開催日 令和3年12月2日(木) 大田市民センター4階  
令和3年12月7日(火) 大田市民会館中ホール
- ・主な内容 地区社会福祉協議会現況調査の報告、小地域福祉活動計画策定モデル事業の実践状況報告、情報交換
- ・延べ参加者 85名

◇小地域福祉活動計画策定モデル事業

<モデル指定地区での計画策定支援>

- ・モデル指定地区：湯里地区社会福祉協議会
- ・アドバイザー：ご近所福祉クリエイター 酒井保氏
- ・事業実施内容：研修会の開催（住民研修、スタッフ研修など）  
調査（団体等ヒアリング、座談会など）  
計画策定に関する検討会等の開催

◇生活支援体制整備事業

地域での高齢者の生活支援に関する協議・支援を行う協議体の設置・運営、事業の実施について支援を行った。年度内に2地区が新たに協議体を設置し、未設置地区においても実施へ向けた検討を進めている。

- ・市内各地区協議体への支援と連携

新たな協議体設置については、地域組織と連携して研修、協議等を開催し、設置へ向けた支援を行った。また、協議体設立後の組織運営や事業の実施については地区担当コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が第2層生活支援コーディネーターと連携し相談の対応や情報提供など支援を行った。

<訪問地区数> 23地区

<訪問回数> 716回

- ・訪問の内訳

①会議・研修等への参加 71回

②相談・打合せ等の訪問 645回

<生活支援コーディネーター情報交換会等の開催>

協議体に配置された第2層生活支援コーディネーター相互の情報交換と関係機関との連携を目的とした情報交換会を開催した。

- ・開催日 月末の金曜日に開催  
(1月は新型コロナウイルス感染予防のため5会場での分散開催とした)
- ・主な内容 市及び市社協からの連絡事項、実施事業の課題等の意見交換、情報の共有、レク講座など

<地区協議体・生活支援コーディネーター研修>

円滑な協議体運営及び事業実施に必要な研修会を開催した。

- ・開催日 令和3年5月21日(金)

・内 容 「体力測定の効果と意義」

講師：大田市立病院 リハビリテーション技術科  
理学療法士 藤原 宗貴 氏

<スタッフ研修会の開催>

コロナ禍での事業推進について共通の理解を図るため、事業スタッフを対象とした研修会を開催した。

・開催日 令和3年11月29日（月）

・内 容 「地域のお宝探し研修」

講師：ご近所福祉クリエイション  
主宰 酒井 保 氏

・参加者 35名

<協議体の設置状況> ※令和4年3月31日現在

	地区名	協議会の名称	協議会の設置	コーディネーター数
1	川 合	川合地域ささえあい協議会	平成28年10月	1名
2	波 根	波根地域ふれあい協議会	平成28年8月	2名
3	湯 里	ゆさと元気会	平成28年10月	2名
4	久 利	久利まちづくり推進協議会	平成28年10月	1名
5	井 田	井田なごみ園	平成28年12月	5名
6	福 波	福波ささえあい協議会	平成29年3月	3名
7	大 国	元気おおぐに推進協議会	平成29年4月	2名
8	池 田	池田地区すこやかクラブ協議会	平成29年6月	2名
9	長 久	長久地区ふれあい協議会	平成29年8月	1名
10	温泉津	温泉津ふれあい協議会	平成29年12月	3名
11	久 手	久手町ささえあい協議会	平成30年1月	2名
12	宅 野	宅野生活支援協議会	平成30年2月	2名
13	大 屋	大屋町介護予防協議会	平成30年10月	2名
14	志 学	志学まちづくり協議会	平成30年11月	3名
15	仁万・天河内	仁万・天河内ふれあい協議会	平成30年12月	2名
16	五十猛	五十猛いきいき協議会	平成30年12月	2名
17	大 代	大代えびすの会	平成31年3月	1名
18	大 森	大森たすけあい協議会	平成31年4月	2名
19	馬 路	てごしようかい馬路	令和元年10月	3名
20	富 山	富山地区社会福祉協議会	令和2年1月	2名
21	朝 山	朝山地区社会福祉協議会	令和3年8月	2名
22	静 間	静間地区しずのいわや協議会	令和4年1月	3名



◇移動・外出支援に関する地域活動助成事業

地域における移動・外出支援に関する地域ニーズの把握及び課題解決へ向け  
て取り組む地区社協に対し、地区担当職員が連携して取り組むことと併せて事  
業実施に係る経費の助成を行った。

- ・実践地区 2地区(志学、北三瓶)
- ・実施内容
  - ①課題の把握のためのアンケート調査とその分析
  - ②課題解決へ向けた協議・検討
  - ③移動・外出支援に関する新たなしくみづくりへ向けた試行と検証

◇生活支援に関する地域活動助成事業

地域における生活支援に関する地域ニーズの把握及び課題の解決に向けて、  
CSWが連携して取り組むことと併せて事業実施に係る経費の助成を行った。

- ・実践地区 3地区(久手、井田、馬路)
- ・実施内容
  - ①地域の生活支援に関する課題の把握のためのアンケート調査
  - ②地域の生活支援に関する課題解決に向けた取組み

◇子育て支援団体連絡会への支援

<子育て支援団体連絡会の開催>

子育てサークル・サロンのネットワークや活動の推進を図るとともに、地  
域での子育ての現状や課題等について子育て支援関係機関との共有を図る  
ことを目的に、市の保健師による「コロナ禍での子育てについて」のお話や  
行政からの情報提供、意見・情報交換などを内容として年2回開催した。

第1回：令和3年7月9日(金)

参加者／サロン団体18名、行政5名

第2回：令和3年12月17日(金)

参加者／サロン団体10名、行政5名

<子育てサロン交流会の開催>

各サロンや地域の枠を超えた子育て世帯間の交流やつながりづくりを目的  
に開催した。開催にあたり、大田高校との連携のもと、高校生ボランティア  
の準備協力をはじめ、当日運営には、各サロンスタッフや市の保健師、助産  
師などの協力を得て実施した。

開催日：令和3年12月17日(金)

参加者：市内在住の子育て世帯30組62名

<子育てサロン訪問>

プログラム支援や活動状況把握のため、子育てサロン訪問を実施した。

訪問回数：7回(7サロン)

◇シニアクラブ活動への支援

◇福祉バス運行事業

社会福祉活動を推進するため福祉団体が行う事業に関して福祉バスを運行することで、参加者移送の利便を図った。新型コロナウイルス感染予防のため、乗車人数に制限を設けるなどの対応を行った。

<登録団体数> 31 団体

<利用団体数> 15 団体

<運行回数> 26 回

#### (4) 地域の居場所づくり

##### ◇地域介護予防活動支援事業

<介護予防活動実施団体> 129 団体

No.	地区	団体数	申請団体	No.	地区	団体数	申請団体
1	大田	3	大田町社協	14	大屋	1	地区社協
		2	まちづくり推進協議会	15	久利	7	まちセン運営委員会
2	川合	8	ふるさとづくり21推進協議会	16	大森	5	まちセン運営委員会
3	池田	4	地区社協	17	水上	7	地区社協
4	志学	0	地区社協	18	祖式	1	地区社協
5	北三瓶	7	地区社協	19	大代	3	地区社協
6	富山	3	地区社協	20	温泉津	3	まちセン運営委員会
7	朝山	1	地区社協	21	福波	5	まちセン運営委員会
8	波根	3	地区社協	22	湯里	6	まちセン運営委員会
		2	まちセン運営委員会	23	井田	4	まちセン運営委員会
9	久手	7	まちセン運営委員会	24	仁万	1	地区社協
10	長久	16	まちセン運営委員会			2	まちセン運営委員会
11	鳥井	8	まちセン運営委員会	25	宅野	3	まちセン運営委員会
12	静間	1	地区社協	26	大国	6	地区社協
		3	まちセン運営委員会	27	馬路	4	地区社協
13	五十猛	3	地区社協	合計		129	

##### ①大田市介護予防活動市民大会サロン大交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

##### ②ふれあいいきいきサロン・介護予防活動実施団体交流会

・開催日 令和3年7月16日(金) 大田市民会館

・内容 コロナ禍でもサロンで活用できるレクリエーション活動、  
情報交換会

講師/奥田 祐子 氏 (NPO 法人いきいきアクトイティサービス理事長)

・参加者 87名

##### ③元気づくりプログラム研修事業

サロン活動のプログラムづくりを支援することを目的に、地域のサロン  
団体等のスタッフを対象として市内4会場で研修会を開催した。

・開催日及び会場

大田会場 / 令和3年9月3日(金) 大田市民センター

鳥井会場 / 令和3年9月10日(金) 鳥井まちづくりセンター  
 仁摩会場 / 令和3年9月17日(金) 仁万まちづくりセンター  
 大田会場 / 令和3年10月1日(金) 大田市民センター

- ・内 容 「みんなが笑顔になるかんたん体操」  
 講師：前田 美佳 氏 (健康インストラクター)

- ・延べ参加者 94名

④活動団体への訪問指導

- ・訪問回数 延べ29回

◇ふれあい・いきいきサロンづくり活動推進事業

- ・指定サロン 1サロン (大田町：桜田サロン)
- ・令和3年度末現在のサロン総数 110サロン

◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催支援

大田市内でのスポーツ大会等 (グラウンドゴルフ、ダイヤモンド・ボール、サイクリング、ターゲットバードゴルフ、将棋) の健康・生きがいづくりを目的として開催される大会について助成を行った。

- ・実施団体：5団体 (大会参加者：230名)

◇講師等派遣事業

- ・派遣回数：59回  
 (レクリエーション46回、ユニバーサルスポーツ4回、その他9回)

◇参加支援事業

- ・参加に関する相談の受付

ふくしよろず相談窓口にて相談を受け、コミュニティソーシャルワーカー等により参加支援に向けた対応を行った。

<受付内容> 14件 (男性12名、女性2名) ※複数課題相談あり

障がい (手帳有)	障がい (疑い)	経済的 困窮	生活習 慣の乱 れ	社会的 孤立	介 護	コミュニ ケーショ ンが苦手	その他
2	1	3	1	9	1	3	4

- ・参加支援に関する実態把握・協議

各分野での支援実践における、参加に関する支援の実情や支援上の課題等を把握するため、支援関係機関実務者を対象としたワークショップを実施した (多機関協働事業にて開催する「令和3年度第7回地域福祉推進支援機関実務者会議」において、グループワーク形式にて実施)。

実施日：令和3年10月8日(金)

出席者：25名

◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会への参画

(5) 地域づくりを進める人材の育成

◇福祉委員活動推進事業

- ・申請地区 16地区（延べ参加者：271名）
- ・主な内容 福祉委員同士及び民生児童委員、自治会長等の交流とつながりを深めることを目的として、情報共有及び課題解決に向けた協議、福祉マップの点検・見直しなどを実施した。

◇地域福祉研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(6) 民間企業・団体や社会福祉法人との協働と地域貢献の促進

◇社会福祉法人地域公益活動推進事業

「大田市社会福祉法人連絡会」役員会及び総会を開催し、今後の取組みについて協議した。

- ・役員会：令和4年3月2日（水）リモート開催
- ・総会：令和4年3月16日（水）リモート開催

(7) 寄附文化の醸成

◇地域福祉活動を支える寄附の受付

- ・香典返し299件
- ・善意寄付16件

◇赤い羽根共同募金運動の推進

募金運動に協力し、集まった募金を各地区社協、福祉事業実施団体、当事者組織等へ助成を行った。（助成一覧：別紙1 P29～P30）

助成金配分実績額 5,859,032円

(8) 要配慮者支援へ向けた地域での体制づくり

◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携

「高齢者の見守り活動に関する協定」に基づき、高齢者一人世帯の見守りを新聞販売店との情報交換や民生児童委員等関係団体と連携し行った。

<緊急対応件数> 0件

(9) 人権施策の推進

◇人権に配慮した相談体制づくり

- ・役職員の人権研修の実施

◇大田市人権尊重のまちづくり審議会への参画

◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会への参画

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(10) 多文化共生社会の実現

◇相談支援体制づくり

- ・在住外国人共生市民の会や外国人地域サポーターと連携し相談対応を行った。

◇在住外国人共生市民の会との連携

- ・定例会への参加
- ・多文化共生計画WG会議への参画
- ・多言語での情報の発信

## 基本方針2 包括的な支援体制の構築

### (1) 分野を超えた相談支援体制の構築

◇相談支援体制づくり

- ・ふくしよろず相談（総合的な相談窓口）

「分野を問わず丸ごと受けとめる場（窓口）」として社協本所内に開設し、生活する中で起こる様々な暮らしの困りごと・悩みごとについて、“まず受けとめる”機能の充実を図った。生活に関する様々な困りごとへの相談を窓口や訪問（アウトリーチ）、ふくしよろず相談窓口専用回線により受け付けた。

また、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯への生活福祉資金特例貸付に関する相談及び問い合わせが多くあり、生活サポートセンターおおだとの連携を図りながら対応した。

<開設日>

月曜～金曜 9：00～17：00（祝日および年末年始を除く）

<新規相談受付件数>

399件

<受け付けた相談の処理状況>

- ・課題解決／100件（情報提供のみによる終了も含む）
- ・関係機関・制度につないだ／164件
- ・中断等／2件
- ・継続対応中／133件

- ・司法書士相談及び石見法律相談センター相談会（パソコン法律相談）

<実施状況>（会場：本所）

相談種別	開催日	回数	相談者数
司法書士相談	毎月第2火曜日	12	23
パソコン法律相談	金曜日	18	21

<相談内容>（重複あり）

区分	離婚	土地家屋	債務債権	相続	計
司法書士相談	0	19	1	7	27

区 分	金銭等	不動産	家族・ 親族	計
パソコン法律相談	9	1	11	21

- ・ 関西大学法科大学院出張法律相談：新型コロナウイルス感染予防のため中止
- ・ 在住外国人への相談対応  
 在住外国人共生市民の会や外国人地域サポーターと連携し相談対応を行った。(外国籍：フィリピン、ベトナム)  
 支援中：2世帯（フィリピン籍）
- ・ 法テラス島根地方協議会及び大田市連絡会議への参画  
 法テラス島根地方協議会：オンライン参加  
 大田市連絡会議：弁護士から相談員への助言（15件）

## (2) 重層的な支援体制の整備

### ◇多機関協働事業

- ・ 大田市地域福祉推進支援機関実務者会議の開催

様々な支援機関の実務者が相互に連携を図り、包括的な支援体制の構築・強化を図ることを目的に開催した。会議の目的を果たすため、「個別会議」と「全体会議」の2つの機能に分け、個別会議は随時開催、全体会議は定期開催（毎月1回）として行った。

#### <構 成 員>

相 談 支 援 機 関 名
大田市福祉事務所 / 大田市健康増進課 / 大田市地域包括支援センター 大田市子ども家庭相談室 / 大田市立病院地域連携室 障がい者地域生活支援センターせいふう / 亀の子サポートセンター 介護支援専門員協会 / 青少年の居場所ゆきみーる / 石東病院医療福祉相談室 生活サポートセンターおおだ / 大田市成年後見支援センター 大田市社会福祉協議会

#### ①個別会議（必要に応じて随時開催）

複合的・複雑化した問題を抱えたケース、支援が必要な状況にあるものの必要な支援が届いていないケース、個別性の高いニーズを抱え既存の制度による対応が困難なケース、制度の狭間の問題を抱えたケースなどについて、支援関係者間の適切な情報共有や役割分担等を行い、多機関の連携・協働によるアプローチや関わりを効果的に展開するため開催した。

開催実績：3回／3事例

（いずれも社会福祉法第106条の6規定の支援会議として開催）

#### ②全体会議（毎月1回定期開催）

支援関係機関・支援関係者間のネットワークの整備・強化を目指し、支援関係者間の相互理解（業務や専門性、視点など）及びコミュニケーションの促進を図るため開催した。具体的な内容としては、テーマ設定型の意見交

換やグループワーク、研修会、各機関からの情報提供及び情報共有などを行った。

開催実績：11回

(1月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。)

#### ◇アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

##### ・関係構築に関わる支援

##### ①相談対象者とのつながりづくり

ふくしよろず相談で受けた相談対象者には、引きこもりや関係機関の支援を拒んでいる、社会的孤立など様々な理由で社会とのつながりが築けていない方との関係性構築のため、訪問や病院受診、書類手続きのための同行支援を行った。

<信頼関係構築に関わる支援実績>

- ・同行支援 132件
- ・訪問 20件

##### ②民生委員児童委員との関係構築づくり

相談対象者には、長期にひきこもりの状態にあるなどして必要な支援が届いていない方や制度の情報など相談対象者にとって必要な情報が届かず課題を抱えている方がおられる。このような潜在的なニーズを抱える方の課題を早期に対応するため、各単位民児協定例会に参加して相談対応に対する検討や制度などの情報共有を行った。

<各単位民生児童委員協議会 定例会への出席>

- ・53回

### (3) 制度の狭間にある生活課題の対応

#### ◇制度の狭間の支援ニーズに対応する事業の企画・検討

- ・社会参加に向けた有償活動プログラム開発に関する検討及び実施

#### ◇社会とのつながり応援事業 「こねくと」

様々な理由により、社会参加をすることに困難さを抱える方に、社会とのつながりを応援する居場所と活動プログラムを提供し、社会参加意欲の向上及び必要な支援を行うことを目的として実施した。

- ・参加者：7名（内訳：利用登録者2名、未登録者5名）
- ・利用に向けたアプローチ：5名（令和4年3月31日現在）
- ・サポーター3名（内訳：登録者2名、未登録者1名）
- ・開催実績：52回（原則毎週水曜日開催）

#### ◇同行支援事業

様々な理由によって適切な制度・サービスにつながらずに生活上の困難を抱える方々に対し、本人や世帯の状況及びニーズに応じて同行支援を行った。

- ・支援対象者（同意者） 11名
- ◇新たな福祉課題に対応する活動の企画・検討
  - ・新型コロナウイルス感染者等生活サポート事業の実施
- ◇大田市地域福祉推進支援機関代表者会議への参画
  - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とされた

### 基本方針3 福祉サービスが利用しやすい環境づくり

#### (1) 権利擁護の取組みの充実

##### ◇福祉サービス利用援助事業

##### <日常生活自立支援事業の推進>

判断能力に不安を感じる方との契約に基づき、その人の意思決定を支える福祉サービス利用援助等を関係機関と連携し行った。

##### ①支援計画作成

サービス内容／福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かり、見守り等

##### ②利用状況及び相談件数

- ・利用件数 85件（うち、生活保護世帯25件）

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
19	23	38	5	85

※その他内訳（高次脳機能障がい、アルコール依存など）

- ・新規利用件数 9件
- ・終了件数 15件
  - ※終了理由（死亡3件、施設入所1件、転居2件、自立3件）  
（後見移行6件）
- ・相談支援延件数 2,642件

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
392	1,351	629	270	2,642

##### ③生活支援員研修会（生活支援員：登録者41名）

- ・県社協主催 生活支援員研修会へオンライン参加
  - 期 日 令和3年9月15日（水） 参加者：13名
  - 場 所 大田市民センター
  - 内 容 事務局説明／日常生活自立支援事業の現状  
講 義／障がい（症状）の特性を理解する
- ・本会主催 生活支援員研修会：新型コロナウイルス感染予防のため中止

##### ◇法人後見事業

本会が成年後見人等となり、財産管理と身上監護等の後見業務を行った。

- ・法人後見運営委員会の開催
  - 開催回数 2回（受任の適否審議／可2件）



- ・出雲成年後見センター定例会への参加
- ・被後見人等に対する成年後見制度に基づく支援（財産管理・身上監護）  
受任件数 6件（男性3名、女性3名）※新規受任件数2件

類型	受任件数	区 分					
		高齢者		知的障がい者		精神障がい者	
		在宅	施設等	在宅	施設等	在宅	入院
補助	0	0	0	0	0	0	0
保佐	1	0	0	0	0	1	0
後見	5	0	2	0	0	0	3
合計	6	0	2	0	0	1	3

◇大田市成年後見支援センター事業

①大田市成年後見支援センター運営委員会の開催

開催日 第1回 令和3年5月31日（月）

第2回 令和4年3月28日（月）

委嘱委員数 12名

②市民後見人養成講座の開催

令和3年6月から令和4年1月まで全9回（カリキュラム：別紙2 P31）

会 場 大田市民センター4階

参加者 19名（修了者17名、再受講者2名）バンク登録者12名

③市民後見人の推薦

推 薦 7名（内選任6名、審判待ち1名）※累計市民後見人36名

④成年後見制度・私のおんしんノート出前講座の開催

開催回数 1回

参加者数 30名

⑤大田市成年後見支援センター相談件数及び専門職候補紹介数

相談件数 19件

専門職候補紹介件数 8件

⑥出雲成年後見センターとの連携及び定例会への参加

事例検討会参加 12回

⑦関係機関との連携

- ・市民後見人の監督及び推薦時の面接立会

- ・家事関係機関との連絡協議会（ウェブ会議）へ参加

◇大田市障がい者自立支援協議会権利擁護部会への参画

(2) 成年後見制度の利用促進

◇権利擁護支援の地域連携ネットワーク体制の整備

◇中核機関への参画

松江家庭裁判所との情報交換会 1回

開催日 令和3年6月3日（木）

(3) 相談しやすい窓口の充実と効果的な情報発信

- ◇社協だよりの発行（6回）
- ◇ホームページによる活動紹介・情報提供
- ◇フェイスブックを活用した情報の発信  
掲載回数：55回
- ◇ケーブルテレビを活用した事業広報
- ◇こころのたより発送事業

大田市民生児童委員協議会との共催で、市内在住の75歳以上の一人暮らしの高齢者及び夫婦ともに80歳以上の高齢者夫婦世帯に対し、声かけ・見守り等の安否確認を行なうことを目的にハガキを届けた。

<対象世帯> 1,862世帯（前年度対象世帯 1,869世帯）

#### 基本方針4 生活課題の解決に向けた取組みの推進

(1) 子育て・子育て支援の充実

- ◇子育てサロンへの情報の提供等の活動支援
- ◇大田市保健対策推進協議会母子保健専門部会への参画
- ◇大田市子ども・子育て支援推進会議への参画

(2) 障がいのある人が地域で安心して暮らせる社会の実現

◇障がい者社会参加促進事業

<障がい者スポーツ振興事業>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

<生活訓練事業>

①視覚障がい者の集い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

②バスハイキング事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③障がい者との体験ツアー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

④福祉講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

<重度身体障がい者移動支援事業>

運転ボランティア・補助員によるリフト付自動車での外出支援を行った。

利用登録者数 178名（休止中の方も含む）※内新規利用登録者5名

実利用者数 13名

年間延べ利用者数 126名

年間稼働日数 111日（運行用務：受診・リハビリ、買物など）

ボランティア登録者 39名（運転者・補助員：明星の会）

ボランティア延べ活動者数 220名

◇点字・声の広報の発行

①音訳広報の発行

広報音訳グループ「ベルの会」に依頼し実施した。（12人に配布）

<発行内容>

- ・広報おおだ 年12回（月1回）
- ・市議会だより 年4回（5月、7月、10月、1月）
- ・社協だより 年6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）
- ・身障の友大田 年2回（7月、3月）
- ・暮らしの情報、健康診断や不燃物収集等の年間予定表 年1回

②点字広報等の作成

利用希望者なしのため実施せず。

◇福祉機器の貸し出し

- ・車いすの貸出し：高齢者や障がい者、怪我治療中の方に車いすを貸出した。  
また、行事や疑似体験等にも貸出しを行った。

貸出件数 13件（貸出し延べ台数16台）

◇障害者就業・生活支援センター事業連絡会議への参画

◇大田市障がい者自立支援協議会への参画

◇大田・邑智地域生活支援会議への参画

(3) 健康づくりと介護予防の推進、認知症対策

- ・食育ボランティアの派遣調整

◇大田圏域健康長寿しまね推進会議への参画

◇大田市生涯現役・いぶし銀が支えるまちづくり推進協議会への参画

(4) 生活困窮世帯への自立に向けた生活支援の充実

◇生活サポートセンターおおだ（生活困窮者相談窓口）

<自立相談支援事業>

経済的困窮や社会的孤立などの様々な課題を抱える地域住民からの相談に応じ、関係者・関係機関等との連携を図り、社会的経済的な自立に向け本人の意向を踏まえながら、本人の状況に合わせて包括的・経済的支援を行った。

①新規相談者数 105名（男性：62名、女性：43名）

年代	人数	割合	年代	人数	割合
10代	2	1.9%	50代	18	17.1%
20代	9	8.6%	60代	18	17.1%
30代	25	23.8%	70代以上	17	16.2%
40代	16	15.2%	不明	0	0.0%

②新規相談内容（困りごと） 230件（複数回答）

内容	件数	割合	内容	件数	割合
病気・健康・障がい	23	10.0%	地域との関係	1	0.4%
住まい	10	4.3%	家族との関係	13	5.7%
収入・生活費	78	33.9%	子育てのこと	9	3.9%
家賃・ローン	20	8.7%	介護のこと	6	2.6%
税金・公共料金支払	20	8.7%	引きこもり・不登校	1	0.4%
債務	10	4.3%	DV・虐待	1	0.4%
仕事探し・就職	13	5.7%	食べるものがない	11	4.8%
仕事上の不安・トラブル	5	2.2%	その他	9	3.9%

③緊急一時的支援の実施状況 180件

支援内容	件数	備考
食糧支援	147	
緊急現金(民生融金)	15	生活費1万円貸付
生活用品提供	18	

④初期対応状況（初回スクリーニング実施時の状況）

- ・自立支援計画（プラン）策定前支援終了件数 11件

区分	件数	内訳
情報提供のみで終了	1	
他制度・他機関等へのつなぎで終了	4	生保3件、 女性相談センター1件
スクリーニング判断前に中断・終了	6	転居6件

⑤自立支援計画（プラン）策定及び評価状況

支援調整会議を毎月1回開催し、支援方針を決定。

構成機関：大田市（地域福祉課、税務課）、石見大田公共職業安定所

- ・支援決定、確認件数 47件

（うち、家計改善支援事業利用13件、就労準備支援事業利用1件）

プラン期間中の一般就労を目標としている就労支援対象者数 5名

初回プラン	再プラン	合計
27	20	47

- ・プランの評価実施件数 36件

終結	再プランして継続	中断	合計
14	20	2	36

- ・評価結果

変化あり	変化なし	合計
33	3	36

・ 支援によりみられた変化（複数回答）

区分	見られた変化	終結	再プラン	中断	合計
		14名	20名	2名	36名
生活面	生活保護適用	4	0	0	4
	住まいの確保・安定	5	3	0	8
	医療機関受診開始	2	0	0	2
	健康状態の改善	2	1	0	3
	障害手帳取得	0	0	0	0
	自立意欲の向上・改善	0	0	0	0
	対人関係・家族関係の改善	0	0	0	0
	生活習慣の改善	0	1	0	1
	孤立の解消	0	0	0	0
	精神の安定	2	0	0	2
	債務の整理	1	1	0	2
	家計の改善	2	3	0	5
	保険関係収入の増加	0	0	0	0
	年金関係収入の増加	1	0	0	1
	その他収入増加	0	1	1	2
	就労収入増加	2	1	1	4
社会面	職場定着	2	1	0	3
	一般就労開始(継続的就労)	2	2	0	4
	一般就労開始(時限的)	0	0	0	0
	雇用契約を伴う支援付き就労	0	0	0	0
	障害者サービス活用	0	0	0	0
	自営業等雇用外の就労開始	0	0	0	0
	就職活動開始	0	0	0	0
	職業訓練の開始、就学	0	0	0	0
	社会参加機会の増加	0	2	0	2
他(1)	その他	2	8	0	10
他(2)	この間に変化は見られなかった	1	2	0	3

※一般就労開始：4名

(就労支援対象プラン：3名、就労支援非対象プラン：1名)

※就労収入等の増加：6名

(就労支援対象プラン：2名、就労支援非対象プラン：4名)

## ⑥支援状況

電話や面談、他機関との調整など、相談支援の延べ件数は2,601件。連携強化の成果として、他機関との電話照会・協議が867件と増加した。

内 訳	件数
電話相談・連絡	625
訪問	195
同行支援	61
面談	645
所内会議	2
支援会議	2
支援調整会議(プラン策定)	47
支援調整会議(評価実施)	36
その他 他機関との会議(支援調整会議以外)	52
他機関との電話照会・協議	867
その他	69
合計	2,601

※家計改善支援事業、就労準備支援事業、一時生活支援事業の活用

## ⑦研修及び会議

- ・ 職員の資質向上のため外部研修に参加
- ・ 関係機関との連携に関わる会議に参加

## ◇家計改善支援事業

家計の課題を抱える生活困窮者に対して、家計の状況を明らかにして自ら家計を管理できるように支援を行った。

### ①主な支援内容

家計管理、滞納の解消や各種制度等の利用、債務整理、貸付あっせん等に関わる支援を自立相談支援事業と一体的に実施した。

### ②家計改善支援プラン策定件数 13件

初回プラン	再プラン	合計
6	7	13

### ③家計改善支援プラン評価実施件数 9件

終 結	再プランして継続	中 断	合 計
1	7	1	9

### ④支援により見られた変化（複数回答）

区分	見られた変化	終結	再プラン	中断	合計
		1名	7名	1名	9名
家計管理	家計の現状の把握	1	4		5
	家計管理重要性の認識		2	1	3
	支出費目の優先順		1		1
	家計範囲内での支出		1		1
	ライフイベントに伴う収支変化見通し				0
生活全般	自立意欲の向上・改善	1			1
	生活習慣の改善				0
	対人関係・家族関係の改善				0
他(1)	その他		1	1	2
他(2)	この間に変化は見られなかった		3		3

#### ◇就労準備支援事業

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、一般就労に向けた準備としての生活習慣の改善やコミュニケーション能力の向上、基礎能力の形成が図れるよう支援を行った。

##### ①主な支援内容

- ・日常生活自立、社会生活自立、就労自立に関する支援を行う。
- ・社会生活自立の支援では、本会の独自事業の社会とのつながり応援事業「こねくと」と連携し、余暇活動・ボランティア活動などに参加し、サポーターとともに作業等を行うことで協調性を養ってもらい、集団行動に慣れることを目的に週1回実施している。

##### ②利用実績

- ・利用人数 1名（社会とのつながり応援事業の活用、職場見学）
- ・定期的な訪問（8050問題を抱える世帯等に訪問し信頼関係の構築）
- ・職場体験、職場見学協力事業所の開拓 協力事業所：2社

##### ③成果

定期的に「こねくと」に参加できるようになり、就労体験として袋のシール貼り活動（内職）につながった。

#### ◇一時生活支援事業

住居を持たない生活困窮者に対して、宿泊場所や食事を提供し、日常生活に必要な物資の提供や貸出しを行い自立の促進を図った。

##### ①主な支援内容

- ・一時的な住まいの提供（ホテル等）
- ・食事及び日用品の提供

##### ②利用実績

- ・利用人数 1名（利用者：18歳 知的障害、被未成年後見人）

- ・相談経路 大田警察署：県外の方を保護したが住む所がない
- ・利用期間 令和3年6月14日～7月7日（23泊24日）
- ・宿泊場所 ゲストハウス雪見院

### ③成果

一時的住居として、一時生活支援事業を利用するとともに生活再建のために生活保護の受給により転居費用にて居住場所等を確保出来た。

#### ◇地域における生活困窮者等のための共助の基盤づくり事業

福祉ニーズの把握や地域サービスの創出・推進を図った。

〈移動・外出支援に関する地域活動への助成及び支援〉

- ・水上地区（通院、買い物支援）
- ・湯里地区（買い物ツアー）
- ・福波地区（買い物ツアー）

#### ◇アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

アウトリーチ支援員を配置し、社会参加に向けたより丁寧な支援を必要とする方に対して、アウトリーチ等による早期発見や支援を行うことで自立支援の強化を図った。

また、ひきこもりの状態にある方やその家族は、それぞれ異なる経緯や事情を抱えており、生きづらさと孤立の中で日々葛藤していることに思いを寄せながら、時間をかけて寄り添う支援を行った。

#### ①ひきこもり相談の状況 本人や家族の相談・支援

性別	全体	年齢				
		10代	20代	30代	40代	50代以上
男	4			1	1	2
女	5	1			1	3
計	9	1		1	2	5

		電話・延件数	来所・訪問 実人数	来所・訪問 延回数
年齢階層 内訳	10代※	/	1	25
	20代			
	30代		1	7
	40代		2	9
	50代以上		5	40
合計		8	9	81

#### ◇資金貸付事業

生活課題の改善・解決に向け、必要な資金を融資し世帯の自立支援を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお困りの人に向けて、令和2年3月25日から緊急小口資金等の特例貸付が実施されている。



①生活福祉資金貸付（実施主体：県社協）

- ・対 象 高齢者、障がい者、低所得者世帯
- ・業 務 資金相談（借入相談、申請支援、生活相談、償還指導等）
- ・貸付相談支援延件数 754件
- ・貸付決定数 95件  
 （うち、新型コロナウイルス特例貸付件数：69件）  
 （うち、教育支援資金貸付件数：9件）
- ・貸付金額 35,051,000円  
 （うち、新型コロナウイルス特例貸付金額19,739,000円）  
 （うち、教育支援資金貸付金額11,450,000円）

資金種類	件数	金額(円)	備 考
総合支援資金	0	0	
特例総合支援資金	31	12,489,000	※新型コロナウイルス特例貸付 初回貸付:20件 延長貸付:5件 再貸付:6件
福祉資金(福祉費)	9	3,205,000	一時経費:5件 内訳 転居費用:2件、家屋改修費用:1件 葬儀費用:1件、修学旅行費用:1件 技能習得:4件 内訳 実務者研修:1件、通信教育:3件
緊急小口資金	8	657,000	保護費受給、給与までの生活費
特例緊急小口資金	38	7,250,000	※新型コロナウイルス特例貸付
教育支援資金	9	11,450,000	大学:2件、専門:4件、高校:3件 ※母子父子寡婦福祉資金併用:6件、 育英会併用:1件、 学生支援機構併用:4件
不動産担保型生活資金	0	0	
合 計	95	35,051,000	

②民生融金貸付（生活資金・緊急現金）

- ・対 象 生活困窮状態にある世帯
- ・業 務 資金相談（借入相談、生活相談、償還指導等）
- ・貸付実績 20件 400,000円
- ・用途別の件数と貸付金額

種 別	使 途	件数	金額 (円)	備 考
生活資金(5万円以内)	年金のつなぎ	3	150,000	
	給与のつなぎ	2	100,000	
緊急現金(1万円以内)	生活費	15	150,000	
合 計		20	400,000	

- ・償還状況

償還件数・金額／40件 288,000円

償還完了件数 / 22件

◇フードバンク事業（寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援）

- ・主な寄付食料品 米、カップ麺、レトルト食品、缶詰等
- ・食料寄付件数 94件（団体27件、個人67件）
- ・食料支援件数 177件（生保世帯等含む）

◇物品貸出事業

生活困窮者の自立へ向けて生活用品の貸出を行った。

- ・貸出し利用者数 2名（貸出物：冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、掃除機）  
扇風機、電子レンジ）

◇学生服等活用事業

不用となった学生服等を寄付していただき、制服等準備することが難しい家庭に提供し、子育て家庭の負担軽減、資源の有効・循環利用を推進した。

- ・対象物 市内の小・中学校及び近隣高校の制服、体操服、柔道着
- ・寄付者数 6名から15品
- ・寄付物 学生服：11品、体操服：1品、柔道着：1品、剣道着：1品  
その他：1品
- ・提供世帯数 5世帯

◇住居確保要配慮者の居住支援

- ・居住支援 4名  
（DV等による転居費用貸付、刑余者の住居確保や住居改修費用貸付）
- ・担保不動産競売事件への対応 1件
- ・一時生活支援事業の利用 1名
- ・住居確保給付金の申請手続支援（申請実人数：3名、申請件数9件）

性別	全体	新規	延長	再延長	再々延長	再申請
		(1回目)	(2回目)	(3回目)	(4回目)	(5回目)
男	2				1	1
女	7		1	2	2	2
計	9		1	2	3	3

◇大田市要保護児童対策地域協議会への参画

◇大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会への参画

◇制度の狭間にある生活課題への対応

- ・女性のつながりサポート相談事業

新型コロナウイルス感染症等の影響により様々な困難や不安を抱える女性に寄り添った相談支援の一環として生理用品の配布をきっかけに、不安や課題を抱える女性を早期発見し、必要な支援につなげた。

配布期間 令和3年8月30日～令和4年1月31日

※令和4年2月以降は、事業名をサニタリードライブに変更し実施中  
チラシ等設置場所 大田市民センター、支所、石見大田公共職業安定所

(5) 再犯防止施策の推進

◇関係機関と連携した更生支援

- ・更生支援対象者 4名
- ・相談経路 本人：2名、家族：1名、国選弁護士：1名
- ・連携先 松江保護観察所、国選弁護士（弁護士方針確認）、法テラス
- ・制度利用 更生緊急保護で自立準備ホーム（松江市）、生活保護、法テラス民事扶助

(6) 社会的取組みによる自死対策の推進

◇大田市保健対策推進協議会自死対策専門部会への参画

◇大田圏域精神保健医療福祉連絡協議会並びに自死総合対策連絡会への参画  
新型コロナウイルス感染予拡大防止のため中止となった。

**基本方針5 安心して暮らし続けることができるまちづくり**

(1) 住宅・生活環境の整備

◇島根県西部地震復興支援活動推進事業

島根県西部地震の影響により住居問題を始めとする生活面での課題が未だに解決に至っていない世帯を支援するとともに、住居問題の解決に向けた取組みに対し補助金を交付した。

- ・交付件数 2件

(2) 移動手段の確保

◇大田市公共交通対策協議会への参画

(3) 防災・防犯体制の充実

◇災害ボランティア活動の推進

- ・被災地からの要請なし。

◇防災・減災推進事業

- ・島根県西部地震からの3年フォーラムの開催

実施日 令和3年11月27日（土）

会場 大田商工会議所 大ホール

内容 「暮らしにある防災・減災の種」

参加者 27名

◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣

- ・福祉専門職登録者数：5名（社会福祉士）

◇大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動

平成30年4月9日に発生した大田市を震源とした島根県西部地震において被災された世帯への支援のため、ボランティアによる支援活動を継続実施した。

<活動状況>

相談件数 29件  
活動件数 31件（完了21件）  
活動日数 29日  
延べ活動者 192名

◇被災地支援活動の推進（ひよりの会）

島根県西部地震での被災をきっかけとした被災者支援活動として、古着物を活用した小物づくりを行うボランティア活動者の集う場を毎月1回開設した。作製した小物は災害被災地へ送付した。

- ・今年度の送付先 熊本県八代市地域支え合いセンター
- ・発送数 280セット

◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づく被災者支援活動

雲南市災害ボランティアセンターへ職員派遣

◇災害訓練等への協力

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。

◇災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備

改定に向けた協議検討を実施した。

**【福祉団体等事務局の受託】**

- ◇大田市身体障がい者福祉協会
- ◇大田市障がい者関係団体連絡協議会
- ◇大田市民生児童委員協議会
- ◇日本赤十字社島根県支部大田市地区
- ◇大田市共同募金委員会